

1. 指定管理者名	公益財団法人多治見市文化振興事業団
2. 指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日
3. 業務の範囲	(1)笠原中央公民館の施設及び設備の維持管理に関すること。 (2)笠原中央公民館の利用許可に関すること。 (3)利用料金の徴収に関すること。 (4)公民館事業の実施に関すること。

4. 採点表										
評価項目		細目		配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)		分析、評価、指示等		得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況(10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用率) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 視聴覚室:31.4%(前年度比169%=31.4%÷18.6%) 会議室1:46.3%(前年度比124%=46.3%÷37.3%) 会議室2:20.0%(前年度比116%=20.0%÷17.2%) 会議室3:25.2%(前年度比114%=25.2%÷22.1%) 料理教室:9.6%(前年度比135%=9.6%÷7.1%) 和室1:28.1%(前年度比101%=28.1%÷27.9%) 和室2:16.2%(前年度比94%=16.2%÷17.2%) 茶室1:7.3%(前年度比203%=7.3%÷3.6%) 茶室2:5.6%(前年度比243%=5.6%÷2.3%) ホール:44.8%(前年度比213%=44.8%÷21.0%)	5点	
			②利用人数	5	平均値比 105%以上:5点、105%未満～95%:4点 95%未満～85%:3点、85%未満:2～0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 ①指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 ②2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1～3年目の平均利用人数) ③新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により①、②によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値	105%以上:5点	平均値比(%)=(R4年度実績)÷(R3年度実績) 視聴覚室:4,731人(前年度比218%=4,731人÷2,166人) 会議室1:16,523人(前年度比166%=16,523人÷9,938人) 会議室2:1,939人(前年度比131%=1,939人÷1,483人) 会議室3:2,502人(前年度比128%=2,502人÷1,949人) 料理教室:1,026人(前年度比173%=1,026人÷592人) 和室1:3,736人(前年度比106%=3,736人÷3,531人) 和室2:2,110人(前年度比90%=2,110人÷2,345人) 茶室1:495人(前年度比315%=495人÷157人) 茶室2:273人(前年度比433%=273人÷63人) ホール:20,493人(前年度比304%=20,493人÷6,742人)	5点	
		(2)市の事業の企画・運営・実施状況(仕様書内)(15点)		15	仕様書以上:15～12点 仕様書に忠実:11～9点 仕様書の一部不実施(軽微):8～7点 仕様書の一部不実施(中程度):6～3点 それ以下:2～0点	年次報告書P339～348 ①高齢者講座/ことぶき学級 名歌を歌おう(20回400人) ②生涯学習講座 (1)かさはらHappyスクール/スッキリ疲れがとれるヨガ 他(23回323人) (2)夏休み!救命救急キッズ、キッズ・親子のための”お金塾”他(41回545人) ③アザレア文化祭 (1)ステージ(300人)、(2)展示(利用団体、講座受講生、笠原幼保小中) ④子ども和太鼓事業/かさはら和太鼓クラブISAMI(43回516人) ⑤かさはら探検隊事業/ガラスアート、新米をいただきます他(11回207人) ⑥地域交流事業/(1)タイルピアノ展示、(2)産業フェスタ等(1,100人)、(3)スポレク(160人)、(4)いこまい祭(1,000人)、盆踊り練習会(270人)、アニソン大会(300人) 他 ⑦ホール事業/(1)栗田麻利子コンサート(134人)、(2)我らのさよならアザレア(450人) ⑧地域支援/(1)アザレア感謝祭、(2)笠原カレンダー制作、(3)NPOまいて支援 他 ⑨学校活動支援/(1)笠小2年生町探検、(2)笠中2年職場体験 ⑩市事業支援/(1)NHKラジオ公開収録(268人)、(2)市美術展学校作品展(2,000人)	仕様書以上 13点	①アザレアホールの廃止に伴い、地域で発足した「さよならアザレアホール感謝祭実行委員会」に対して、委員会への出席と助言、チラシや整理券の作成、感謝祭当日の会場運営などを支援し、成功に寄与。 ②同様に、ホール事業として長年開催してきた「誰でも参加できる音楽劇」シリーズを振り返るコンサートを最後のホール事業として開催。ホールへの最後にお別れをする機会を提供。 ③いこまい祭りを契機に、小学校や地域住民と連携して笠原音頭などの特色ある盆踊りの練習会を開催。子どもたちへの地元の文化芸能の伝承に努めた。 ④次世代育成事業「かさはら探検隊」では、子どもの頃に様々な事業に参加していた若者がボランティアとして関わり始めており、次世代の子どもを支援する輪が生まれている。 ⑤タイル名称統一100周年を記念した地域産業のイベントに対して、会場の提供や運営支援で積極的に関わり、生涯学習事業のほかにも幅広く地域に貢献する施設として評価できる。	13点	
			(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が 期待以上:15～12点 例年通り:11～9点 例年よりやや劣る:8～7点 例年より劣る:6～3点 例年よりかなり劣る 2～0点	年次報告書P.349～363 ①舞台芸術鑑賞・施設活性化/KASAHARA STAGE SQUARE(3回223人) ②舞台芸術鑑賞/(1)100人のプレミアムなセカイ(2回224人)、(2)フォトライブ(220人)、(3)落語の世界(550人)、(4)誰でも参加できる音楽劇(2回970人) 他 ③施設活性化事業/(1)あそびパーク(12回149人)、(2)マダーミステリー(3回22人)、(3)ボードゲームフェスタ(2回52人)、思い出ホールツアー(13人) ④施設活用事業/うながつぱグッズ、やくならマグカップもグッズ販売 ⑤次世代育成事業/(1)パパと過ごす休日講座(7人)、(2)手芸教室(4回34人) ⑥地域活性化事業 (1)いこまい祭/中学生プロデューサー(15回88人)、きもだめし、「いこまちゃん」家族大募集 ⑦生涯学習講座/一般(29回301人)、親子・子ども対象講座(5回83人)、かさはらカレッジ悠遊塾(23回448人)、ふれあい囲碁将棋交流会(1回29人)、VIVAマナビ講座(36回149人)、キンロウクラフト共催(2回136人)	期待以上 13点	①令和6年度からの児童館統合を見据え、子ども向け、親子向けの講座の数を増やし、子どもの居場所となる施設づくりに着手。 ②料理講座を夜間に開催。仕事と家事を両立支援への取組みに努めている。 ③勾玉づくり講座において、事前に講習を受けた中学生が、受講生の小学生に寄り添った指導を行う姿が見られ、子どもたちの中で相互に成長できる機会を設けることができた。 ④コロナで中止していた「誰でも参加できる音楽劇」を再開。企画から練習、本番までの過程で、参加者相互の助け合いを醸成。メイクや小道具作成など参加者の得意分野を活かすことで、「市民参加型」の公演を開催に取り組んだ。 ⑤中学生ボランティアがプロデューサとなり、いこまい祭の関連イベントを企画・運営。その過程を通じて地域の若い力を育み、地域に活かすように努めた。	13点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)		①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P364 ①日常の清掃業務のほか事業計画にある各種業務を遅滞なく実施。 ②新型コロナウイルス対応のための消毒活動の徹底。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②保守・点検			年次報告書P365 ①笠原体育館を含めて多岐にわたる保守点検項目を適正に実施。 ②設備スタッフと綿密に連携を取りながら、多数ある保守点検業務を確実に実施。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③保安・警備			年次報告書P365 ①巡回警備、機械警備を適正に実施。 ②のぞき案件の発生に対し、速やかに疑似防犯カメラ設置や近隣警察の協力を得て警備を強化。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④小規模修繕			年次報告書P366 有償修理 12件 総額382,687円(図書館笠原分館含む)	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			年次報告書P367 ①普段との違いなど経験や感覚を活かし、日常的な施設点検を実施。 ②利用者やスタッフ間の会話などを通じて施設の異常や危険箇所の把握に努めた。 ③点検のため出入りができる3階トイレ窓に鍵付きチェーンを設置。 ④ホールの階段ステップに白テープを貼って転倒事故防止や、防滑塗装などによる事故防止。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点 適正(普通):2点 一部不備あり:1点 不備あり:0点 ②5項目の合計点とする。	年次報告書P368 ①市のファイリングシステムに準じて、適切な保管・廃棄・整理を実施。 ②個人情報収集は必要最低限の内容に留めるよう留意。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点	
			②環境への配慮			年次報告書P368 ①笠原探検隊やほのぼの遊びパークで身近な廃材などを活かした工作を取り入れ、意識の醸成を図った。 ②地域のNPOや福祉施設の資源回収に協力し、資源の有効活用を図っている。 ③月1回、商工会やモザイクタイルミュージアムとも協力し、施設周辺の清掃活動。 ④「松本紀生フォトライブ」で来場者に自然環境保護への意識を高めた。 ⑤雨水利用の取組み。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			③バリアフリー			年次報告書P368 ①高齢者世代が多い定期利用団体には、机や椅子の準備をサポート。 ②養護学校生徒の施設利用にあたり、学校担当者と事前に部屋の使い方やトイレ、駐車場などを打ち合わせ。当日スムーズに運営できるよう支援。 ③思いやり駐車場に通常より多くの駐車枠をあて、障がいがある方の来館に配慮。 ④ホールでの自主事業は2階からの入場を基本としているが、足の不自由な方には声掛けをし、1階からの入場を案内。必要に応じて臨時的障害者駐車場を確保。 ⑤出入口に「ウェルカム補助犬」のステッカーを掲示。補助犬を連れての方が躊躇することなく入館できるよう努めた。 ⑥要望に応じてモザイクタイルミュージアムへ行く利用者への車椅子の貸出や自前の車椅子への空気入れなど支援。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理			年次報告書P368 ①日常的な点検から安全を確保するよう確認。故障に対しては長く使用できるようこまめな修理に心がけている。 ②古くなって使用していないブラウン管テレビなどの物品を適正に廃棄した。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑤個人情報保護			年次報告書P368 ①コロナ関連で収集した個人情報は一定期間保管ののち、適切に廃棄。 ②地域の方や定期利用団体の代表者などの個人情報に関するお問い合わせについては、相手の方に了解を得てから伝えることを徹底した。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする(事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、事故等対応に不備あり:△1点)	年次報告書P337 ①駐車場でアクセルとブレーキを踏み間違えた単独事故について、運転手が負傷したため救急車を手配と現場の安全確保を実施。近隣住民と共に各署への通報・連絡など迅速かつ適切な対応を行った。	事故なし・対応に不備なし 0点	適正に実施されている。	0点	
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、105%以上:5点、105%未満～100%:4点、100%未満:3点	収入130,453,468円÷支出127,178,126円＝103%(図書館笠原分館、笠原体育館含む) ※※上記収入のほか、多治見市より「新型コロナウイルス感染症対策指定管理者緊急支援金」として1,072,109円を別途交付。	105%未満～100% 4点	【参考】 ①施設単独の指定管理料 53,625千円 ②施設単独の主な収支 (1)収入／利用料金収入3,962千円、文化事業収入6,485千円、雑収入1,710千円 (2)支出／運営管理費38,966千円、文化振興事業費6,683千円	4点	
4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)	①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10～8点 適正(普通):7～5点 不備あり:4～1点	年次報告書P370～375 ①タブレットを導入し、年間講座の受講生に対する連絡をLINEオープンチャットで実施。連絡が円滑になり、ペーパーレスにもつなげた。 ②アザレアホールの廃止に伴うお別れのイベントを求める地域住民と協力し、連携、支援に取り組んだ。 ③公民館以外の問い合わせ(モザイクタイルミュージアム、地区事務所、タイル購入等)にも丁寧な案内を心がけた。 ④地域の観光情報や施設案内の情報を収集しロビーに設置するとともに、リクエストに応えながら、ロビーでうながっぱグッズ販売。 ⑥事業の終了後にアンケートを実施している。 ⑦高齢者の利用には、机や椅子を事前に出すなどニーズを先取り。	期待以上 9点	①令和4年度はアザレアホール最後の年度となり、地域住民の心中をうかがいながら、様々な事業の開催に応えている。 ②公民館利用者への対応以外にも、まちの中心的な施設としてあらゆる問い合わせに対応しており、日ごろから情報収集や情報共有に努めている。 ③適正に対応されている。	9点	
			②苦情対応	5	期待以上:5点、適正(普通):4点、不備あり:3～1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	苦情なし・期待以上 5点	苦情なし。		5点
		(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)		15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15～12点 適正(普通):11～9点 普通未満～物足りない:8～0点	年次報告書P371 ①公演の前に関連書籍などの展示を実施。来館者が興味を持つきっかけづくりや、理解を深める一助とした。 ②令和5年度の長期休館に伴い、定期利用団体に対して代替施設の案内や相談に応じ、不安を解消と生涯学習の継続に努めた。 ③タイル名称統一100周年イベント「美濃焼タイル祭」支援や「タイルピアノ」展示協力により、地元業界と共にタイルのPRを実施。 ④ホール空調の不調に対し、数時間に及ぶ手作業で調整。また扇風機のフル活用などで円滑なホール利用の対応に努めた。 ⑤アザレアホール解体を前に、思い出に残るようにイベントを実施した。 ⑥ホール利用が増加に対して、安全確保や駐車場の事前調整など、利用者に混乱がないように取り組んだ。	期待以上 13点	①大規模修繕の休館を前に、定期利用団体への情報提供を適切に行い、不安解消に努めた。 ②また住民からの改修工事の内容やリニューアル後に対する問い合わせに対して、丁寧な説明に努め、リニューアルに向けて前向きな気持ちを持っていただけるよう対応した。 ③ホールの解体を惜しむ地域との連携事業、地元業界のタイル事業など積極的な地域との関わり。 ④モザイクタイルミュージアム見学の訪問客からの問い合わせにもおすすめスポットの紹介やパンフレットを渡すなど丁寧に対応した。	13点	
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	不備なし	遅れ・不備なし 減点なし	不備なし	0点		
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	指示等なし	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	指示等なし	0点		
合計				100	【4段階評価】 極めて良好 100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討 44点以下				合計87点	
									全体的な評価 ①ホール廃止を惜しむ地域住民に寄り添い、様々な面で地域への協力や支援に努めた。 ②事業においては、子どもたちの活躍の場を意識した取組みが印象強く、若者が次の子どもたちの育成に関わる機会づくりが頼もしい。 ③体育館、図書館分館、モザイクタイルミュージアムとともに、地域の活性化を図ろうとするネットワークの一員としての役割を意識して日常の運営が行われている。	極めて良好